

お茶の時間



10月13日、大阪・関西万博が開幕。21日は女性初の総理大臣が誕生した。トントン拍子とはいかない様子。
日本ではガラスの天井が二重だと騒がしかった。
前総理に期待した人が多かったらうに、魔物に囲まれ身動きが出来ない有様に接し「結局、誰かになって……」と妙な納得感が漂ったまま、終っちゃったなあ。
聴く耳も持っていたはずの、元総理のご子息は赤いカーペットが敷かれた階段で友人たちとしゃべり画像をネットに流すし。
それを誰かが、それなりの仕事をしていただろうに、馬鹿馬鹿しいことばかりが頭をよぎる。
消えた年金問題、郵政民営化、消費税導入、など次々と国民の暮らしを息苦しくさせてしまうことには積極的で!!
誰かやっても同じ、でないことを願ひ、静かに高市総理のお手並を見習わせていただこう。
(サッカー、アルビレックス新潟がJ2に降格決定。めげずに頑張ろう。)

作家・五木寛之さんの「奇想転画異」より抜粋。
五木さんは「若い頃からの、ひそかな実感である」と。
私など日々能天気なふりをして過ごしている。
悩んだところで結局自分の力で解決しなければならぬのだから。
ケセラ・セラ ケセラ・セラ

世の中は
思う通りには
なっていないのだ



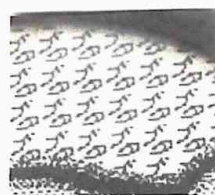
心に響く言葉



イタリア みやげ (ガラス)



京都で、愛しい



「ギンシリーと
ブタ」の文字が
幸せを呼ぶ絵だ。



3匹のブタが
コレクションの
始まり。

ブタ、ブタ、コブタ

部屋の壁に丸額に納められたブタの顔の絵が飾られている。
パソコンで遊び始めた、当時小学生だった三男からの「母の日」のプレゼントだ。

背景は、カタカナ文字でぎつしり埋められ子どもらしい遊び心が効いていて楽しい。愛くるしい表情を眺めると自然に顔がほころぶ。

わが家には小さな置物から、クッキーの型、マグネット、メモ挟みなどの「ブタ」が点在する。

ブタとの出会い？は以前、新潟市の証谷小路にあった「ワークアップ」というヨーロッパのおもちゃ類を扱う店で見つけた手の指先ほどの小さなブタの置物からだ。

見上げた表情、仰向けや横に寝そべった姿が愉快で三個買った。それから旅先や街でも真つ先に目にとび込んでくるようになり仲間がどんどん増えている。

もうずいぶん昔になるが、京都の参道を歩いていた時、妙に魅かれて立ち寄った店で三センチほどのコロんとした素焼きのブタを見つけた。手のひらに載せると私に語りかけてくるようで、早速店主にお願ひすると「お気に入っていただけたらこちらも嬉しく思います。これは私の夫の作品で……」と上品な笑顔を見せた。

どんなに小さな作品でも手に取ると、それぞれに作者の思いや性格がにじみ出ている、その出会いが嬉しい。

イタリアを旅した長男から「お母さんだけに土産がいっぱいになってしまったなあ」と、ベニスで見つけたという五ミリと小さいけれど精巧な作りのガラスのブタを八個、大事そうに手渡され感激した。

外国産のブタは大概、耳がとても大きい。「幸運のブタ」「黄金のブタ」などと呼ばれ親しまれ商品化されている。

小さい形にこだわらず、胸がキュツとなるような表情のブタを見つけては喜んでる私にすっかり家族全員振り回されて、彼らにとってもブタは気になる存在になってしまったようだ。

手作りの飾り棚に並んだブタたちを眺めては、そのときどきの状況をなつかしく思い出す。

お箸のマナー、楽しくチャレンジ

アメリカで学ぶ日本人料理者がビーカーに落とした物を器用に二本のガラス棒ですくい上げ、周囲の人たちを感心させた。という一文が資料探し中に目に止まった。箸を扱う日本人の手先の器用さが成せるワザが、いや当り前の行動だったのだらう。

箸は素晴らしい。二本の棒で、はさんで、つまんで、さいて、と機能的。小さな食べものでも巧みにつまんで手を汚したりしない優れた食事道具だ。

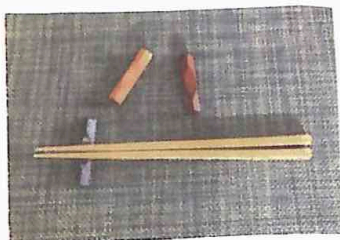
近年は外国人も上手に箸を使って食べる姿を目の当たりにするが、その自然体に驚いている。私たちの食生活に欠かせない箸。自宅の食卓で、お気に入りの箸置きに置いて自分専用の箸で食す。きれいな箸置きが日本人らしい食事風景である。

今までに何本の箸と出会っただろう。

時折、箸の持ち方が気になる。筆記用具の持ち方も(し)。そんな投稿も目にする。

日本人の食生活が変化はといえば、箸は日本人の誇る道具。

木箸、塗箸 色も多数、デザインも様々
たかか箸 けれど、大切に守り続けたい文化と思う。



日常づかいの箸置き



趣味で集めた。



お気に入りの箸置き
来客用に使うことが多い。
使い勝手が とても良い

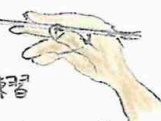
お箸の禁じ手

迷い箸、渡し箸、刺し箸、深箸、せせり箸、探り箸、寄せ箸、握り箸

箸のかたずみに入れておくだけでフツと気付くかも？!

① 先ずは

1本で練習



(動画で練習が良ければ)

② 人差し指で
軽く箸を押さる
ように人差し指を
下げる

③ 中指を上
に伸ばすと箸が
上がる。
これが出来たら
2本で練習だ。

いいもの みつけ!



← 産物で
みつけた五徳
色高が共良。
← 竹 茶釜の
フタ置き
← 陶器



茶道で使った茶釜のフタ置きも、台所で
茶蓋置き用に使ったなら「あう便利」
使ってみると、もうちょっと高さがほしい。大ま目
のフタ用かほしい、と気にしていたら、燕三条
の地場産業センターで五徳をみつけ、即購入。
今では欠かせない存在となり、大活躍だ。

高齢者になれば体のあちうに支障が
出てきて愚痴を口にするが、年を考へれば人集
染みのようなもの、だと受け止めておられる著者。
当 齒科医院の患者さんたち、ご高齢が
多いが、歯の手入れを怠らず、多少のボヤ
キは言うものの、総体的に大らかで、気持ち
良い方ばかりである。
「何の比喩しき」そうだと、その勢い
は方ないことに逆うってみよう。



「89歳 名匠のいざいざ生活術」
著者 石川 恭三
発行 2025年7月30日
河出書房新社
価格 1760円(税込み)

いいなこの本



11月8日は い.い.は.の日



診療所と隣接する自宅ウッドデッキでは
わが80個ほどの干し柿がぶら下がり、気
持よく和ませる。
目ざとく見つけた患者さんかう「秋です
ね」とお声がかかり、嬉しくなる。
毎年、頂戴する美味い新米コシヒ
カリを味わう更に幸せいはい。明日への
エネルギーの糧とするのだ。

先日、栗ご飯を炊き、スタッフたちにお配
りした。少しばかりなのにおいかなと
喜ばれ、只々嬉しくなっている。
さつま芋を蒸籠で蒸したのも喜ばれた。
今、せいろは人気だそうで、無印良品
では品切れ状態だと息子の連れ合いから
メールがあった。

我家の蒸籠は結婚当初のもので、
半世紀は使っている。
気に入ったものを大切に使う。
物も、人も、目利きが重要。

勤労感謝の日は「仕事が出来ること」に
感謝する日だと診療所と自宅の建築
に関わった方々が伺った言葉。
こんな捉え方もするのかもしれない。

自民党総裁に就任の高市早苗さんば
「働いて、働いて、働いてまいります」と
力強く挨拶した様子も人々から反
響した。

私など凡人は、議会議場中、居眠りやスマ
ホをいじる周辺の議員たち、もう少し
働きまわろうと、脱破をかける、と、思
ったが、揚げ足を取る報道が多かつた。

新総理は早苗さん、財務大臣はさつ
さん、いづれも隣り支えた女性はいどさん、
日本の農村風景を彷彿させる名前が
連なつた。

月のつよやき